

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Reはーとえいる			
○保護者評価実施期間	令和8年1月20日 ~ 令和8年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13名	(回答者数)	9名
○従業者評価実施期間	令和8年1月20日 ~ 令和8年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2名	(回答者数)	2名
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年2月12日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児一人一人の発達段階に合った支援ができる事。	全体では同じ活動でも利用児の発達段階に合わせてその利用児ごとに内容を変えている。	日々の振り返り等で利用児一人一人の特性や、好きなこと苦手なことを共有し、それを支援に活かしていく。
2	小集団での活動を基本としているが、必要時には個別の対応もできるということ。	利用児一人一人のその日の状態を表情や行動をよく観察する。	園にお迎えに行った際、それまでの園での過ごしの様子を先生から聞き取りすることを強化する。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動内容のバリエーションが少ない。	スタッフの人数が少ないので、室内での活動が多くできる活動が限られてきている。	スタッフの人数を増やし、事業所以外での活動も取り入れていけるようにする。
2	スタッフのスキルにばらつきがある。	新しく入職したスタッフが多く、未経験での入職のスタッフもいる。	日々の振り返りや定期的な研修でスタッフのスキルをできるだけ均一にする。
3			